

三陽機器

ロングリーチで効率作業



「BM-36」による作業風景



寺前社長

ツインモアー活躍

トラクタ三点リンク直装

三陽機器(寺前公平社長)発売のトラクタ用アーム二面草刈機「ツインモアー」二型式は、今年も順調な出荷が続いている。「ツインモアー」は、トラクタに乗ったまま、アームを伸ばして田畑の畦、果樹園、水路の法面など広い範囲の草刈作業が楽に、また効率よくできるので、農家の高齢化が進む中、注目の省力機器として各地で大きな関心を呼んでいる。

三陽機器岡山具浅口郡里庄町新庄三八五八の「ツインモアー」は、トラクタ三点リンク装着アーム二面草刈機「BM-36」の二型式。

「ツインモアー」は農業従事者の高齢化が進むなかで、最も過酷な作業

の一つの草刈作業の省力化を目的に開発した高性能機。トラクタに乗ったまま作業に、効率よく田畑の畦、果樹園、水路の法面など広い範囲での草刈作業を可能にし各地で注目を集めている。同社でも最近「実演や試乗を行うと約半数の農家が購入してくれる」と拡販へ手応えを感じている。

側、後方、左側の四ボジションの位置にセットでき、広範囲の作業が可能

「BM-36」の商品概要は次の通り。

《主な特長》①水平作業リーチは最大三・六m、自走式では難しかった法面、遠隔地の草刈りが可能。また、トラクタ型式により、最大作業リーチ四・二mの選択も第二シリンダの組替えにより可能となる②モアーの作業位置は運転席右側方、右

側、後方、左側の四ボジションの位置にセットでき、広範囲の作業が可能③油圧駆動による屈折式二面刈りロータリモアーを採用。道路肩や畦畔の上面と法面を同時に刈れる④フローティングリンクをアーム先端に採用。モアーが地表面の起伏に追従し、刈高安定の精度の高い作業が可能⑤操作はフィンガータッチのスウィッチ方式を採用⑥専用流量制御弁を採用。アーム作動、モアーの回転数を一定に保ち安定した草刈りが可能⑦刈刃は上下二段の四枚で長い草もきれいに処理⑧三点リンクへの着脱も簡単⑨三点リンク装着のため、ドッキングローダとの共着も可能⑩電磁弁方式のため、キャビン付トラクタへの装着も容易。

《主な諸元》▽型式ⅡB

カテゴリーⅡ0、1、2

M-36▽適用トラクタⅡ

▽適用オートヒッチⅡ日

二五・七〜三六・七kW

農工Sヒッチ、Lヒッチ

(三五〜五〇PS)▽質

▽モアーⅡ刈刃形式はパ

ーナイフ方式、刈幅八〇

cm(四一〇×二)、刈

量Ⅱ二二五kg(アーム、

モアー部、トラクタ本体

組付部品を含む)▽適用

高三〇、五五、八〇%の

率)。

三段階、モアー回転数は

二七〇rpm

▽時間当たり草刈り面

積Ⅱ六八〇〜一七〇〇㎡

(トラクタ速度一〜二・

五km/hの場合の作業能

率)。